

概 要

1. 建物概要

2. 工事種目・工事種別

2. 工事種目・工事種別

(1) 工事種目は○印のついたものを適用する。

・電力貯蔵設備	一式	一式	一式	一式
---------	----	----	----	----

2006	2007	2008	2009	2010	2011
------	------	------	------	------	------

3. 設備方式概要

工事種目は○印のついたものを適用する。

雪 校	① 昭 昭 昭 昭	② 昭 昭 昭 昭	③ 昭 昭 昭 昭	④ 昭 昭 昭 昭	⑤ 昭 昭 昭 昭	⑥ 昭 昭 昭 昭	⑦ 昭 昭 昭 昭	⑧ 昭 昭 昭 昭	⑨ 昭 昭 昭 昭	⑩ 昭 昭 昭 昭	⑪ 昭 昭 昭 昭	⑫ 昭 昭 昭 昭	⑬ 昭 昭 昭 昭	⑭ 昭 昭 昭 昭	⑮ 昭 昭 昭 昭	⑯ 昭 昭 昭 昭	⑰ 昭 昭 昭 昭	⑱ 昭 昭 昭 昭	⑲ 昭 昭 昭 昭	⑳ 昭 昭 昭 昭	㉑ 昭 昭 昭 昭	㉒ 昭 昭 昭 昭	㉓ 昭 昭 昭 昭	㉔ 昭 昭 昭 昭	㉕ 昭 昭 昭 昭	㉖ 昭 昭 昭 昭	㉗ 昭 昭 昭 昭	㉘ 昭 昭 昭 昭	㉙ 昭 昭 昭 昭	㉚ 昭 昭 昭 昭	㉛ 昭 昭 昭 昭	㉜ 昭 昭 昭 昭	㉝ 昭 昭 昭 昭	㉞ 昭 昭 昭 昭	㉟ 昭 昭 昭 昭	㊱ 昭 昭 昭 昭	㊲ 昭 昭 昭 昭	㊳ 昭 昭 昭 昭	㊴ 昭 昭 昭 昭	㊵ 昭 昭 昭 昭	㊶ 昭 昭 昭 昭	㊷ 昭 昭 昭 昭	㊸ 昭 昭 昭 昭	㊹ 昭 昭 昭 昭	㊺ 昭 昭 昭 昭	㊻ 昭 昭 昭 昭	㊼ 昭 昭 昭 昭	㊽ 昭 昭 昭 昭	㊾ 昭 昭 昭 昭	㊿ 昭 昭 昭 昭
-----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

適切に処理を

適切に処理を行うと共に ノンアスベスト製品を使用すること。

II. 工事仕様

1. 国土交通 様

国及び特設仕様にて記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官庁官庁庁務部建築部監修の公共建築工事標準仕様書及び公共建築設備工事標準仕様書（以下「標準仕様書」と記載）による（いずれも令和4年度版建築設備工事編）。

住宅工事及び公共建築工事標準仕様書による（令和4年度版）。

4. 施工に關しては電気設備工事管理指針（令和元年度）による。

アセスメント形成前の取組は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年度版」に基づき適切に処理を行うと共に ノンアセスメント製品を使用すること。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。

类	项	目	特	记	事	项
---	---	---	---	---	---	---

電 灯 設 備	① LED照明器具 ② 照明器具の接地 3 予備配管 ④ 送り配線箱 ⑤ ボックスの接地	<p>LEDの寿命は初期全光束の70％に低下するまでの時間とし、4.0.0.00時間以上とする。</p> <p>・照明器具は、接地する。</p> <p>なお、金属管配線の場合は、配管を利用してもよい。</p> <p>・埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の、配線用遮断器4個以下の場合(PF22)を1本、5個以上の場合は、(PF22)を2本、天井まで立て上げる。なお、スラブ天井の場合は、天井又は床下 200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取出せる。</p> <p>・二重天井の場合は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取出せる。</p> <p>・照明機器（非常用照明器具を含む）には、定格電圧がA以上の送り配線が可能な端子を取出せるものとする。〔市販品〕と表示されたもの</p> <p>・照明器具及びスイッチ、コンセントのボックスには配て接地工事を施すこと。</p>
動力 配 線	1 機器の接地 2 インターロック	<p>・電動機容量 7.5 kw以下の第I種接地工事は、配管を利用してもよい。</p> <p>・火災危険により空調機、送排風機及びボイラなどを停止させる。</p>
雷 害 防 護 電 線	1 仕様詳細	・別図、雷保護設備仕様による。
受 電 電 線	1 仕様詳細	・別図、受電設備仕様による。
分 配 電 線	1 仕様詳細	・別図、分電設備仕様による。 別図太陽光発電設備仕様による。
構 造 内 情 報 設 備	1 仕様詳細	・別図、構内情報通信設備仕様による。
構 造 交 換 機	1 仕様詳細 2 電話機への配線 3 ローテーション 4 保安用接地	<p>・別図、構内交換設備仕様による。</p> <p>・電話機1台につき次のものを見込む。</p> <p>・T I E F 0.65-2C (・ 2.0m・ m) ○EM-BITEE 0.4-2 P</p> <p>・ 2号フヤプロテクタ 1.5m</p> <p>・ 一般用 信</p> <p>・ 本工事 別途工事</p>
情 報 表 示 設 備	1 マルチサイン装置 2 出退表示装置 3 時刻表示装置 4 プログラムタイマ 5 電子式チャイム	<p>別図、マルチサイン機器仕様による。</p> <p>別図、出退表示装置仕様による。</p> <p>・ 親時計 ・ 緑 回線 ・ 壁掛形 ・ 自立形</p> <p>・ 子時計 ・ アナログ ・ デジタル</p> <p>別図、プログラムタイマ仕様による。</p> <p>別図、電子式チャイム仕様による。</p>
映 像 ・ 音 響 機	1 増幅器 2 スピーカー 3 プロジェクター 4 その他の機器	<p>別図、音響機器仕様による。</p> <p>・ 入力 ・ ローインピーダンス型</p> <p>・ 液晶型 ・ インチ型 ・ 天井吊型 ・ 卓上型</p> <p>別図、機器仕様による。</p>
拡 声 機 備	① 増幅器 ② スピーカなど 3 機器と配線の接続 4 その他	<p>・ 一般放送又は緊急放送が可能 ・ 非常放送は自動音響による ・ カットリレー</p> <p>・ 卓上用 ・ キャビネットラック用 ・ デスク用</p> <p>・ 出力 30 W</p> <p>・ リモコンマイク</p> <p>別図 スピーカー仕様による</p> <p>増幅器などの入出力線と配線との接続は、コネクタなどを取得して行う。</p>
誘 導 方 法 援 機	1 音声誘導装置 2 インターホン 3 トイレ呼出し装置 4 その他	<p>別図、音声誘導装置仕様による。</p> <p>・ 親機 局型 ・ 呼出し表示灯及び復旧ボタン付 ・ 通話方式（・ 親子式 ・ 相互式） ・ モニタ付</p> <p>・ 身障用型 ・ 点字説明機</p> <p>・ 親機 局型 ・ 呼出し表示灯及び復旧ボタン付 ・ 表示灯</p> <p>国際シンボルマークは、合成樹脂製とし、寸法 55×150×150 で白地に青とする。</p>
テ レ ビ 機 備 同 機	① テレビアンテナ 2 テレビ電波障害 調査工事	<p>UHF (・ 20素子 ・ UH-20 UL20 (BL))</p> <p>○ CATV (引込工事調整共) ・ 既存より分岐</p> <p>・ ベースプレート (蓋板メッキ) ○ ボール (蓋板メッキ)</p> <p>・ 機器は4K放送対応品とする</p> <p>別図、調査工事仕様による</p>
監 視 機 備 メ ラ 機 備 同 機	1 カメラ 2 ビデオモニター 3 録画装置 4 装置形式	<p>・ CCD方式 ・ CMOS方式 ・ 白黒 ・ カラー ・ ネットワーク利用</p> <p>・ インチ型 ・ 7.2時間停電復帰</p> <p>・ タイムラプス型 ・ デジタルレコーダー</p> <p>・ 壁掛型 ・ 自立型 ・ デスク型</p>
社 会 制 場 機 備	1 仕様詳細	別図、駐車場管制設備仕様による。
防 犯 ・ 放 入 消 火	1 仕様詳細 2 工事範囲	<p>別図、防犯・入退室設備仕様による。</p> <p>・ 予備配管のみ本工事 ・ 機器及び配管配線まで本工事</p>

① 配線図中の記号等は、下表による。

(1) 電線サイズなどが記号に添記されている場合は、それによる。
(2) 圧縮記号配線の場合も適用する。

記 号	名 称	記 号	名 称
共 通	コンクリート貫通部分 () 既設配管 (P F 16)	(室 名) スラブ天井 配線保護部分	

② 他工事との取合い事項は、下表による。

工事内容	電気工事	建築工事	機械工事
機械の基礎	電気配電盤・制御盤の基礎 自家発電機 (アンカーボルトを除く) テレビアンテナ基礎 (〃) 避雷針の基礎 (〃) 特記した基礎	室内 屋外 屋上	
開口部	梁、床、壁 貫通スリーブ 梁、床、壁 貫通部型枠 軽量鉄骨下地天井 壁・ボード類の切込 埋込形分電盤・端子等の型枠 上記の開口部の補強 スリーブの穴埋 (型枠の穴埋めを含む) 既設コンクリート壁貫通・修繕 (ダイヤモンドカッター) 既設コンクリート床はつり修繕		
点検口	床、天井、壁		
防油堤	オイルサーピスタンの防油堤		
ガス漏れ検知器			
消火栓検込み機器収納室内配線整理用箱子			
電気配管	機械設備機器の制御盤以降の配管配線 (接地地) (空調機、ポンプ、全熱交換器、自動水栓等) 機械設備機器の制御盤への一次側電源配管配線 (接地地) 煙感知器から通動制御盤を経て防煙ダンパー及び排煙口に至る配管配線 小使務用排水装置の配管配線 自動ドア及び電動シャッターなどの制御部への電源供給 自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ 防火扉レリーズ 電機梯 配線ビッド及びふた 別添機器などへの接続		

③ 機器の標準取付高さは下表による。

名 称	測 点	取付高 (mm)	名 称	測 点	取付高 (mm)
電力 共 通	取引用計器	地上～窓中心 1800～2000	表 示	床示壁	床下～中心 2300
	引込開閉器	床下～中心 1800～2200		壁付発信器	〃 1300
	分 電 盤	床下～中心 1500 (上端1900以下)		ベル・ブザー・チャイム	〃 2300
	スイッチ	〃 1300		壁付押ボタン	〃 1300
電	身体障害者用スイッチ	〃 1100		電源箱	天井下～上端 200
	壁付コンセント (一般)	〃 300	イ ン タ ー ホ ン	壁付位置ボックス (一般)	床下～中心 300
	〃 (和室)	〃 150		〃 (和室)	〃 150
	〃 (台所)	台上～中心 150～300		身体障害者用脱機	〃 1300
〃 (土間)	床下～中心 800～1300	身体障害者用子機		〃 1100	
灯	ブラケット (一般)	〃 2100～2300		身体障害者用呼出ボタン	〃 900
	〃 (縁場)	〃 2000～2500		身体障害者用復帰ボタン	〃 1500
	〃 (鏡上)	鏡上端～中心 150		身体障害者用表示灯	〃 2300
				近接型インターホン	〃 1300

SPECIAL MENTION	株式会社 ナカヤマ・トン設計 一級建築士事務所 一級建築士事務所登録 第 1-50123 号 一級建築士 大匠登録 第 161906 号 構造一級建築士 交付番号 第 5250 号 中山 俊治	 株式会社 ナカヤマ・トン設計 トン・アソシエイツ ARCHITECT & ASSOCIATES	1 1478-5 NISHIMACHI, KURUME-SHI, FUKUOKA, JAPAN PHONE 09423 39-6988 E 854-1 MORIBE, TANUSHIMARU-MACHI, KURUME-SHI, FUKUOKA, JAPAN PHONE 0943473-2343 1 級建築士事務所登録第 1-50123 号 1 級建築士登録第161906号 中山俊治	CHECKED-BY CHECKED	CHARGE	DRAWN	NAME OF CONSTRUCTION 就業改善センター大規模改修工事	DRAWING NAME 電気設備 特記仕様書	DATE 2023, 12	SHEET.NO E-01
-----------------	---	--	--	-----------------------	--------	-------	---	----------------------------	------------------	------------------